

# 包括的性教育だより

わかやましりつみやしょうがっこう  
和歌山市立宮小学校

2年生で性の健康相談室・浜野助産院 助産師：浜野優子さんにおこし頂き、『いのちのたん生』という内容でお話を聞かせてもらいました。大変遅くなりましたが、教えて頂いた内容と、児童の感想をお知らせさせていただきます。また、お子様が記入した感想を持ち帰りますので、ぜひその感想と合わせてお子様とご一緒に読んでください。

2年生の生活科の授業で「これまでのわたし これからのわたし」という内容で、産まれた時のようすやこれまでの成長などの学習をしたあと、浜野ゆうこ先生に来ていただき学習しました。

初めに浜野先生からの問題で「これなーんだ」と写真が出てきました。みなさんは「おへそ！」と元気よく答えていましたね。前半は、「おへそのひみつ」について学習しました。「赤ちゃんのおへそってどこにつながってる？」という質問には、「おしり！」や「お母さんのおへそ！」と答えていましたね。正解は、赤ちゃんのおへそは、お母さんの『たいばん』につながっているでした。赤ちゃんのおへそとたいばんは、『へそのお』という一本の管でつながっています。赤ちゃんはお母さんの子宮の中で膜に包まれていて、たいばんは子宮のかべにくっついていて、生きることに必要な、栄養や酸素、免疫をもらっています。出産後（赤ちゃんが産まれたあと）は、自分で息をしたり、ミルクを飲んだりできるようになるので、必要がなくなったへその緒はハサミで切れ、赤ちゃんのおへそのところにちょっと残っているへそのおは、自然に取れて今あるおへそになります。へそのおは、神経が通っていないので切っても痛くないそうです。たいばんはお母さんの子宮の中にまだ残っていますが、20～30分くらいで子宮にくっついていたのが外れて出てくるそうです。お母さんの体から必要なものをもらい、大切に守られてきたことがよくわかりましたね。



おへそのひみつを学習したあと、クイズ形式でキリンなど、動物の出産についても教えてもらい、そのあと私たち人間の出産について学習しました。人間の赤ちゃんは、男の人の精子と女の人の卵子がくっついて赤ちゃんの卵になることを教えてもらいました。そのあと、ゆうこ先生からプレゼントをもらいました。プレゼントは、みなさんの命が始まった時の大きさ（受精卵）の穴が空いた折り紙です。小さな小さな穴を、一生けんめいのぞいていましたね。

代表のお友だちの心ぞうの音をちょう診器で聞かせてもらったり、お腹の中の赤ちゃんの心ぞうの音も聞かせてもらいました。そのあと、お腹の中の赤ちゃんの成長がわかる人形を抱っこさせてもらったり、妊婦さん体験をして妊婦さんの大変さも体験させてもらいました。小走りしかできないし、しゃがんで物を拾うのも大変でしたね。小さな大ききから始まったみなさんの命が、「おへそのひみつ」を通して、自分がどのようにお母さんのお腹の中で大切に育てられてきたのか感じることができました。

後半では、産まれてくる時にはお母さんのがんばりと赤ちゃんのがんばりがあることを教えてもらいました。男の人の性器には穴が2つ（おしっこの出てくる穴・うんちの穴）、女の人の性器には3つの穴（おしっこの出てくる穴・赤ちゃんが産まれてくる穴・うんちの穴）があって、真ん中にある赤ちゃんが産まれてくる穴から産まれてきます。赤ちゃんが産まれてくる方法には2つあって、1つ目は赤ちゃんがそろそろ産まれるよというサイン（じんつう）を送ったり、赤ちゃんが頭の骨を自分で小さくしたり、体を回転させながら産まれてくることを教えてもらいました。もう1つは赤ちゃんがお腹の中で頭が上を向いていたり（逆子）などの理由で、帝王切開といってお母さんのお腹を切ってそこから産まれてくる産まれ方があるって、どちらもお母さんも赤ちゃんも守るすてきな産まれ方であることも教えてもらいました。

# 授業の様子・児童の感想

赤ちゃんのおなかの中で育つ様子や出産について学習したあと、産まれる体けんをさせてもらいました。

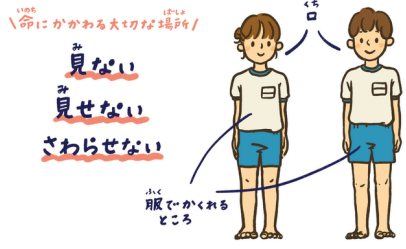


休み時間には、自分の心ぞうの音を聴診器で聞いたり、妊婦さん体験、赤ちゃん抱っこ体験もさせてもらい、自分の体のすごさや妊娠中のお母さんの体、赤ちゃんがお腹の中で大きくなっていく様子を見たり、体験させてもらいました。

## 『プライベートゾーン』『シャボンだまバリア』

シャボンだまバリアは、目には見えないけれど1人1人持っている心と体を守るものです。自分がイヤだと思った時は、「イヤ」「やめて」って言うてもいいんだよ。この気持ちはその行為がイヤなだけで、相手のことをきらいというわけではないよ。自分のバリアも大切だし、友だちのバリアも守ろう。

### 知っているかな？ プライベートゾーン



プライベートゾーンって？  
◎髪の毛から指の先まで  
☆特に下着（水着）で隠れる部分＋口



いざという時の自分の身を守る行動

↓  
どうして？  
下着（水着）でかくれる部分（胸・性器・おしり）は、体の内部につながる「いのち」に関わることで自分だけの大切な場所だからです。



うまれて、きってのこったへそのおがしぜんにおちるのがすごいと思った。ちっちゃい赤ちゃんでも、心ぞうの音がめっちゃでっかいと思った。おへそとたいばんがつながっているのがわかった。

本当は大人になるまで知らないのに教えてくれてありがとうございます。赤ちゃんのことやお母さんのことをしれてよかったです。自分もがんばって生まれてきたことや、お母さんもがんばってくれたことをしれてよかったです。

- ・自分もこんなうまれかたをしたんだなあと思いました。
- ・はまの先生のせつめいがわかりやすかったし、ママはこんなにがんばったりしているのがすごいなあと思いました。

赤ちゃんがうまれるときに2つのうまれかたがあるのがすごい。にんぷさんはこんなに大へんだったとわかったよ。赤ちゃんがおなかから生まれるときに頭を小さくして出てくるところがすごい。

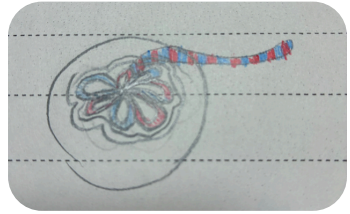
- ・お母さんからえいようをもらってせい長していくことをはじめてしました。
- ・体といのちは大じだなあと思いました。
- ・色々な体けんがたのしかったです。

シャボンだまバリアをはじめて知りました。



うまれたての赤ちゃんについているひも（へそのお）は、きったりたいと思ったけどいたくないって教えてくれてわかりました。

にんぷになる体けん、めっちゃおもくて大へんってわかったのと、6か月の赤ちゃんでもおもったけど、3つ子だとどれくらいおもいのかも体けんしてみたい。赤ちゃんが生まれてくるときにあたまをちっちゃくして出てくるのがわかりました。



赤ちゃんのさいしょの大きさがあんなに小さかったなんてしらなかった。